

R6 農学部のキャリアガイダンスの内容と実施方法について

1. キャリアガイダンスの実施方法

農学部のキャリアガイダンスについては、「佐賀大学キャリアガイダンス実施方針」にもとづき、教育委員会が統括する。各コースは教育委員会及び就職委員会の助言にもとづき、キャリアガイダンスを実施する。

2. キャリアガイダンスの内容

各コースは下記に示すキャリアガイダンスを実施する。

生物資源科学科（各コース共通）

	正課教育	正課外教育・イベント
1 年次	<ul style="list-style-type: none"> ●大学入門科目（必修）において農学部生物資源科学科の全専門分野を説明し、職業選択の意識をさせる。 ●農学部新規科目「アグリキャリアデザイン」を開講し、学部やキャリアセンター教員、及び企業など学外から講師を招き、キャリア教育を実施する。 ●「アグリキャリアデザイン」科目において、農学部卒業生による就職経験紹介を実施する。 ●「農業 ICT 学」において学外の講師を招き、起業等の講義を実施するとともに、ビジネスプラン策定のシミュレーション体験を実施する。アントレプレナーシップ教育を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーションにおいて就職について説明する。
2 年次以上		<ul style="list-style-type: none"> ●Teams を用いて就職関係の情報提供の充実を図る。 ●学部3年生及び修士課程1年生を対象とした農学部就職講座を開催する。 ●農学部同窓会と連携してOB/OGとの交流会を開催する。

生物科学コース

	正課教育	正課外教育・イベント
2 年次	<ul style="list-style-type: none"> ●生物学実験（必修）の1テーマとして、民 	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業研究（必修）のための研究分野分

	<p>間会社の工場や試験場等を訪問させ、実践的な職場状況を見学させる。</p> <p>●生物科学概論Ⅱ（必修）において、コース卒業生の進路先の特徴について説明を行い、早い段階で自身の進路について考えさせる時間を設ける。</p>	<p>属の説明会を開催し、各分野の研究内容とともに、卒業後の進路や就職先について説明する。</p> <p>●チューター面談を実施し、進路指導を行う。</p>
3年次	<p>●分属した分野ごとの演習において、専門領域と自己のキャリアとの関係を把握させる。</p> <p>●インターンシップS、インターンシップL（選択）を開講する。</p>	<p>●農学部就職ガイダンスに学生を参加させる。</p> <p>●各種就職説明会に参加させる。</p> <p>●チューター面談を実施し、進路指導を行う。</p>
4年次	<p>●卒業研究（必修）において、専門分野で自立するための問題発見・解決の方途を学ばせる。</p>	<p>●各種就職説明会に参加させる。</p> <p>●チューター面談を実施し、進路指導を行う。</p>

食資源環境科学コース

	正課教育	正課外教育・イベント
2年次	<p>●将来の職業につながる教育研究分野の内容を紹介し、2年次終了前に教育研究分野に分属させることで、職業に対する意識を喚起させる。</p> <p>●フィールド科学基礎実習ⅠⅡ（選択）で農作業における各種実体験をさせることで農業関連の情報を提供する。</p>	<p>●専門に関連する事業所や施設を視察し、職業感を養成する。</p> <p>●チューター面接による進路指導を実施する。</p>
3年次	<p>●実験食資源環境科学（必修）や分属した研究室の指導による専門科目選択により、専門領域について理解を深めるとともに自己のキャリアとの関係を把握させる。</p> <p>●授業科目「インターンシップS」「インターンシップL」（選択）によって実際の企業活動を体験し、進路について考える機会を与える。</p> <p>●農村環境計画学（選択）において様々な専門機関の関係者を招聘し、実務についての体験を披露することで、職業現場の情報を提供する。</p>	<p>●農学部就職ガイダンス・各種就職説明会への参加を促す。</p> <p>●企業や公共団体の人事担当者等を招き、様々な職種における新鮮な情報を提供する。</p> <p>●チューター面接による進路指導を実施する。</p>
4年次	<p>●卒業研究（必修）において、専門分野で自立するための問題発見・解決の方途を学</p>	<p>●各種就職説明会に参加させる。</p> <p>●会社・公共団体に関する説明会を開催</p>

	ばせる。 ●農業工学総合演習（選択）において、農業農村工学分野の公務員・民間就職を希望している学生に対し、専門領域の学習指導を行う。	し、学生に対して情報を提供する機会を増やす。 ●チューター面接による進路指導を実施する。
--	---	---

生命機能科学コース

	正課教育	正課外教育・イベント
2年次	●「化学実験Ⅰ・Ⅱ（必修）」では化合物や食品成分の化学的分析実験の基礎を学び、応用できるような実践実験の基礎を習得させる。将来的には、化学・食品関連企業における研究開発の基礎の実体験を目指す。	●チューター面談を実施し、進路指導を行う。 ●教員志望の学生に対して教職チューターを配置し、面談を実施する。
3年次	●「生命機能化学概説（必修）」の中で各研究分野と社会とのつながりを考える機会を提供する。 ●「微生物学実験、生化学実験（必修）」では微生物の単離、コントロール、食品や医薬品成分の機能に関する実験は食品や医薬品分野の実験を行い、関連企業における研究開発の基礎を実体験させる。 ●「インターンシップS、L（選択）」を履修可能である。実際の企業活動を体験し、進路について考える機会を与える。 ●新たにフィールド科学基礎実習Ⅱを後期に配当し、実際の食品加工実習を実施し、関連企業における基礎的な知識を修得する。	●チューター面談を実施し、進路指導を行う。 ●随時研究室紹介を企画し、その中で研究および進路について説明する。 ●可能であれば食品関連企業の見学会（日帰り研修）を企画し（9月）、就職活動の参考にさせる。 ●農学部就職講座への参加を促す。 ●各種就職説明会やインターンシップへの参加を促す。 ●アグリキャリアデザインで招聘した講師などとの交流を通して、企業との連関を図る。
4年次	●卒業研究（必修）において、専門分野で自立するための問題発見・解決の方途を学ばせる。	●各種就職説明会への参加を促す。

国際・地域マネジメントコース

	正課教育	正課外教育・イベント
2年次	●各講義のなかで、講義内容が実社会のどのような問題に関連しているのかについて説明する。 ●国際・地域調査法、および社会調査実習に	●関心のある学生にたいして、NPOなどの活動への参加を案内する。

	<p>において、社会経済文化などを把握するための基本的な視点について講義、実習を行う（これらは NPO や地域振興、国際関係のキャリア形成のために不可欠な知識となる）。</p>	
3 年次	<ul style="list-style-type: none"> ●インターンシップの授業をとおして、職業の現場を経験する。 ●国際関係の職業に就こうとする学生には、アジア・フィールドワークの授業のなかで、諸外国の職業の現状について説明し、実地見学を行う機会を与える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一部の学生は、マルシェに参加することにより、農業ビジネスの体験を行う。 ●国際学生交流イベントで世界の学生と交流することによって、国際的な視野を身に付けさせる。 ●キャリアセンター実施の説明会などへの積極的な参加をうながす。
4 年次	<ul style="list-style-type: none"> ●国際インターンシップをとおして、国際的な職業の現場を経験する。 ●本コースでは、社会でのフィールドワークを行うため、卒業研究もまたキャリア形成の一環として位置づけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一部の学生は、マルシェにも参加することにより、農業ビジネスの体験を行う。 ●卒業研究などの一環として、農業法人や農家、NPO などで参加型の調査を行う中で、現場を知る機会を与える。 ●キャリアセンター実施の説明会などへの積極的な参加をうながす。